

# 団本部紹介

- 1. 入団は、いつ?・分団は? 2. 趣味は?
- 3. 職業は? 4. 目標は?



児玉 進 団長

- 1. 昭和 58 年 4 月 1 日 第 6 分団所属
- 2. 家庭での DIY
- 3. 建築業
- 4. 市民の安全・安心はもちろんですが、コロナ禍の終息。そして、団員一丸となつての訓練や団員不足の解消と消防団の被服、装備等の充実です。



安達 修蔵 副団長

- 1. 平成 2 年 4 月 1 日 第 1 分団所属
- 2. 剣道
- 3. 農業
- 4. 市民の皆様の付託に応え、安心、安全な街づくりに寄与できるように消防団活動に励んでまいります。尚一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。



沼沢 恵一 副団長

- 1. 平成 3 年 4 月 1 日 第 1 分団所属
- 2. スキー、ジャズ
- 3. 製造業 (自営業)
- 4. 必ず以前のように活動を再開できる日が来ると信じ、団員の方々に頑張ってほしいと思っています。今後とも宜しくお願い致します。



## ラップ隊



地域の皆さんの安全のためにラップ隊一丸となり盛り上げていきます!!

宜しくお願ひ致します。

市民の皆様には、コロナ禍で令和二年・三年の村山市消防大演習や防災訓練の中止で出会い出来る機会がありませんでしたが、今後機会があればお声掛けくださるようお願い致します。

われわれ消防団は、市民の安全・安心のため活動の充実と地域の防災力向上を胸に持ち進めてまいりますので、今後ともご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びになります。市民の皆様のご多幸と活躍を祈念し、団長拝命と年頭の挨拶とさせていただきます。



## 年頭あいさつ

村山市消防団長 児玉 進

令和四年の新年を謹んでお慶び申し上げます。昨年四月に村山市消防団長を拝命した、児玉と申します。



この度、消防功勞により藍綬褒章の栄に浴し、身に余る光榮であり、この上ない喜びとなりました。これもひとえに、これまでご指導頂きました多くの皆様方と団長をはじめとするすべての消防団員・消防職員の皆様の支えがあったこと、改めて感謝申し上げます。村山市でも大規模な水害が発生するなど、全国各地で自然災害が多発し、消防団に求められるものも多様化しています。さらに団員の減少など、多くの課題に苦慮している状況にあります。市民の皆様様の安心・安全な生活に少しでも役立てるよう、今後とも消防団活動に励んでまいります。



令和三年四月に安達修蔵副団長が藍綬褒章を受章され、記念祝賀会が令和三年十一月十四日にクアハウス基点で、新型コロナウイルスの感染対策を行いながら開催されました。藍綬褒章とは国や地方公共団体から依頼された方に行われる公共の事務に尽力した方と与えられる褒章で、安達副団長は平成二年の入団後、部長や分団長を経て平成二十九年四月一日より副団長を担い、その長きにわたる功勞により今回の受章となりました。

〈本人からの喜びのコメント〉

この度、消防功勞により藍綬褒章の栄に浴し、身に余る光榮であり、この上ない喜びとなりました。これもひとえに、これまでご指導頂きました多くの皆様方と団長をはじめとするすべての消防団員・消防職員の皆様の支えがあったこと、改めて感謝申し上げます。村山市でも大規模な水害が発生するなど、全国各地で自然災害が多発し、消防団に求められるものも多様化しています。さらに団員の減少など、多くの課題に苦慮している状況にあります。市民の皆様様の安心・安全な生活に少しでも役立てるよう、今後とも消防団活動に励んでまいります。

## 安達副団長藍綬褒章受章



# 消防団広報誌

問合せ先  
(村山市消防本部)  
TEL 55-2514  
(災害情報テレホンサービス)  
TEL 55-0119  
(E-mail)  
syoubouhonbu@city.murayama.lg.jp

市民を守る新しい仲間  
の活躍にご期待  
ください!



### 新入団員紹介

「地域の皆さんの安全のために頑張りますので、よろしくお願ひします。」

★第6分団 伊豆倉 美穂子

「地域防災の為に率先して活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。」

★第1分団 小野 滉将

### 消防団員募集中

十一月十四日にヤマザワ村山店、ヤマザワ村山駅西店にて消防団員募集のチラシ配布を行いました。

「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神のもと私たちが活動しませんか?

私たちと一緒に地域を守りませんか?

### 七分団車紹介

十一月七日、袖崎地区にて新型ポンプ車のお披露目式を行いました。安全機能付きポンプ操作盤・LED警光灯・発電機を搭載した最新鋭ポンプ車が導入されました。

▼第七分団分団長より誓いの言葉を頂きました。

「十月二十四日、二十三年ぶりに第七分団第三部に新しいポンプ車が配備されました。地域の火災や災害に出動し、尚一層、その役割を十分に果たしてまいります。地域の皆様方には、今後ともご指導ご鞭撻、ご協力をお願い申し上げます。」

団員が放水訓練を披露し地域の方への防災を誓い、第七分団全員は心ひとつにして地域の防災活動に努めてまいります。

### 消防団員募集中

2022年、全人類に笑顔を捧ぐ

消防団員募集中



### 軽貨物消防自動車配属式

●十月二十四日(日)

●消防署訓練場

大高根地域二台目となる軽貨物消防自動車(第八分団第一部)が導入されました。

第一部の深沢地区は本年度より二班体制から二班制になりました。

▼第八分団第一部高橋部長より

「配備して頂き感謝致します。今後、広範囲での消防活動ができると思っておりますので期待して頂きたいです。」



### 点検しよう〈住宅用火災警報器〉

●定期的な作動確認  
点検ボタンを押すか点検ひもをひっぱり定期的な作動確認をしましょう。

●古くなったら交換  
10年を目安に交換しましょう。

- 〈編集委員〉
- 委員長 石川みずき (第4分団)
  - 副委員長 井上 朝美 (第4分団)
  - 委員 鈴木 智子 (団本部)
  - 日塔 直子 (団本部)
  - 柴崎 宏美 (第1分団)
  - 鈴木 麻美 (第3分団)
  - 犬飼 清美 (第4分団)
  - 青木 恵美 (第5分団)
  - 細谷菜津美 (第6分団)
  - 伊豆倉美穂子 (第6分団)
  - 永岡美由紀 (第7分団)
  - 川崎 千尋 (第7分団)
  - 高橋 夕子 (第8分団)

今年度は、昨年の集中豪雨による被害も癒えぬまま大雪による被害、新型コロナウイルスの脅威も続き私たちの「日常」が脅かされる事態となりました。

しかし、ワクチンの接種も進み、東京オリンピックも開催されるなど確実に明るい未来へ繋がっております。私たちの「日常」を守っていく為、今後も情報提供、防災広報に努めて参ります。皆様の防災への意識に役立てば幸いです。

最後に、本紙を発行するにあたりご協力頂きました皆様、誠にありがとうございました。

### 忘れてイナイ(171)? 災害伝言ダイヤル171

地震などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言です。

体験しよう  
安否情報の確認方法  
毎月1.15日や  
防災週間などで体験できるので使い方を確認しましょう。

### もしもの時に

体験しよう  
安否情報の確認方法  
毎月1.15日や  
防災週間などで体験できるので使い方を確認しましょう。